茶
（チャ）
花言葉…追憶、純愛など

椿科の植物で、開花時期は10／5〜11／20頃。葉の部分はいわゆる「お茶っ葉」になるもの。日本人にこよなく愛されるお茶（純愛）をすすりながら過去を思う（追憶）などと言われている。

花のお便り

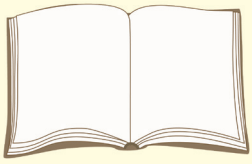
2020.10　No.172
E-mail : info@miyazaki-p.co.jp
http : //www.miyazaki-p.co.jp/
〒157-0062 東京都世田谷区南烏山5-33-2
TEL. 03-5384-1331・FAX. 03-3305-2528

10月1日からようやく東京がGOTOキャンペーンに加わることになりました。GOTOキャンペーンは、本来なら新型コロナウィルスによる影響で落ち込んだ観光業やそれに携わる諸々が助かるキャンペーンだったのに、始める時期が悪かったのか、「不要不急」というパワーワードに国民の意識が負けてしまい、どうにもネガティブキャンペーンのようになってしまった。景気はマインドだと言われている。国民のマインドさえ上がれば、この不況を乗り切る事が出来るのではないか。日本人は流されやすいので、このGOTOキャンペーンがポジティブに作用される事を願うばかりである。

マスクケースの品揃えが増えています

マスクの着用が当たり前の今日このごろですが、レストランや美容室などで外したマスクをどこにしまうか迷いますよね。男性でしたら、おもむろにポケットへ入れても良いのかなとは思いますが・・そんな時お店にマスクケースが置いてあったら嬉しいですよね。そんな要望に応えるべく印刷会社でさまざまなマスクケースが製品化されています。
連続使用できるクリアファイルの素材を使用した製品や、1回使い捨ての紙を使用した製品など、もちろん抗菌仕様にも対応しており抗菌基準を満たしている製品にのみ表示できる【SIAA】マークを表示していただくこともできます。なかでも紙製のものは単価も安く加工もしやすいため大型店舗でも採用されるなど注目されています。ミシン目を入れ、端を切り離せるようにしてクーポンチケットを付けるなど、販売促進としても使用できるタイプの製品もございます。
ご興味がある方は、営業担当までご連絡くださいませ。

A氏の気まぐれエッセイ　自分のための自分史

今年の2月、みやざき印刷にKさんという男性が訪れてきました。Kさんは、高齢者施設に入所しているお母様が20年程前に書かれた自分史とエッセイを本にしたいと来られました。Kさんのお母様が手書きで書かれた文章をKさんがデータ化して持って来られましたがそれは200ページ程にもなる大作でした。しかし2月に訪れて以来、Kさんからの連絡が途絶え、もしかして本を作る事をやめてしまったのかな？と思いましたが連絡をしてみると、コロナの影響でお母様が入所している施設での面会が当面不可となり、なかなか校正が進まなく、Kさん自身も歯がゆい思いをしているとの事でした。それから7月に入った頃、Kさんが久しぶりにみやざき印刷を訪れてきました。ようやくお母様との面会が出来るようになったとの事で自分史及びエッセイの制作をすすめる事ができました。猛暑の中、Kさんは自転車で何度も校正に訪れて、その都度修正を繰り返していきました。そして9月の初めにエッセイ集「山の彼方に」が完成しました。Kさんは、その出来上がりにとても満足していたようで、最後に当社の前で写真を撮ってお帰りになられました。

私は、そのエッセイ集を読んでみました。そして私は気付きました。「自分史」というものは、残された家族の為に作るものではなく、自分のために書くものだと。Kさんのお母様が書いた自分史は、今の家族に対する思いと、生まれ育った故郷を偲び、亡くなられたお母様やお父様、ご兄弟を思う気持ちに溢れているのです。しかしながら私がとても印象に残ったのは、戦争で学びや吸収の場を奪われた悔しさを何度も訴えていた所です。その時の体験や気持ちを余す所無く書いてある文章に、私は深い感銘を受けました。
自分史は、それを読んだ誰かを思いながら書くことではなく、自分自身の思いを開放させるものであると思いました。今後も自分史制作を多く手助けしていければと強く思いました。